



2026 年 8 月 18 日

各 位

会社名 株式会社タウンズ
代表者名 代表取締役社長 野中雅貴
(コード番号: 197A 東証スタンダード市場)
問い合わせ先 取締役 C F O 内山義雄
TEL. 055-953-9590

株式会社タウンズを Co-lead Investor とする
Craif 株式会社のシリーズ D ラウンド実施のお知らせ

株式会社タウンズ（本社：静岡県伊豆の国市、代表取締役社長：野中 雅貴、以下「当社」という。）は、資本業務提携先 Craif 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：小野瀬 隆一、以下「Craif」という。）が、総額 53 億円のシリーズ D ラウンドを、当社と Granite Integral Capital Pte. Ltd.（本社：シンガポール、共同代表：CK Chuon、Joe Yan）を Co-lead Investor として実施したことをお知らせいたします。なお、当社は、この総額 53 億円の一部をすでに先行して出資しております。

1. 資金調達の概要

(1)調達主体	Craif 株式会社	
(2)Co-lead Investor	株式会社タウンズ Granite Integral Capital Pte. Ltd.	
(3)調達額	約 53 億円 うち、第三者割当増資及びセカンダリー取引：約 48 億円 うち、融資：5 億円	
(4) 調達先	①新規投資家	Granite Integral Capital Pte. Ltd.、株式会社こども森、株式会社北洋銀行 ※他、個人投資家
	②既存投資家	株式会社タウンズ、X&KSK、Unreasonable Group、Nagase Future Investments 株式会社
	③本ラウンド借入先	株式会社常陽銀行、株式会社東日本銀行、株式会社北洋銀行、株式会社北國銀行、株式会社名古屋銀行、株式会社日本政策金融公庫

2. 資金調達目的

Craif は、本ラウンドで得た資金で米国の R&D 体制を強化し、米国での保険償還を見据えたプロダクトローンチを実現します。あわせて国内では、尿がんリスク検査「マイシグナル」のさらなる研究開発・事業開発組織の拡大や、すい臓がん医療機器プログラム（SaMD）の薬事承認取得に向けた臨床開発を進めます。さらに、これらで得た知見とデータを基盤に、がんにとどまらず多様な疾患を早期に捉える「尿解析プラットフォーム」の構築を加速します。

3. 今回の資金調達と当社の事業とのかかわりについて

当社は、2026 年 7 月に Craif と業務提携契約を締結し、Craif が提供する「マイシグナル・スキャン」について、医薬品卸・医療機器卸等を介した医療機関向け販売に関し、日本国内における販売パートナーの一社として販売権を取得しております。また、Craif が開発中の尿中マイクロ RNA 解析を基盤とした膵がん医療機器プログラム（SaMD）についても、同販売チャンネルを通じた医療機関向け販売に関し、日本国内における独占的販売権を取得しております。さらに、本業務提携契約期間中において、当社は膵がん SaMD に関連または派生する他のがん種向け SaMD 製品および今後新たに販売される SaMD 製品について、優先交渉権を取得しております。

今回の資金調達は、Craif の研究開発・事業開発のさらなる強化および薬事承認取得に向けた臨床開発の推進に資するものであり、当社との業務提携による事業シナジーの創出と提携施策の推進につながるものと考えております。

4. 調達主体の概要

(1) 名称	Craif 株式会社
(2) 所在地	東京都新宿区新小川町 8-30 THE PORTAL iidabashi B1F
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 小野瀬 隆一
(4) 事業内容	がん領域を中心とした疾患の早期発見や個別化医療の実現に向けた次世代検査の研究・開発、尿がんリスク検査「マイシグナル®」の提供
(5) 設立年月	2018 年 5 月
(6) 当社との関係	2025 年 4 月 資本業務提携契約 2026 年 7 月 業務提携契約
(7) コーポレートサイト	https://craif.com/

5. 両社コメント

株式会社タウンズ代表取締役社長野中雅貴コメント

Craif がこのたび実施したシリーズ D ラウンドにおいて、Co-lead Investor として参画できたことを、当社として大変意義深く受け止めております。

今回の資金調達を通じて、Craif の研究開発体制のさらなる強化やグローバル展開が一層加速することを期待しております。また、当社が日本国内における独占的販売権を有する現在開発中の膵がん医療機器プログラム (SaMD) についても、臨床開発から社会実装に向けた取り組みが大きく前進するものと確信しております。

Craif が有する尿中マイクロ RNA 解析技術は、がんの早期発見に新たな可能性をもたらす革新的な技術です。当社は、両社の協業を通じて、この技術をより多くの患者様や医療機関に届けていきたいと考えております。

当社は今後も Craif の成長を長期的に支援するとともに、次世代の診断技術の社会実装を推進し、日本のみならず世界の医療課題の解決に貢献してまいります。

Craif 株式会社代表取締役小野瀬隆一コメント

Craif を 2018 年に創業して以来、「がんという世界共通の課題を、日本発の技術で解決する」という志を一度も曲げずに走り続けてきました。日本では 2,500 を超える医療機関に検査を届け、すい臓がんの薬事承認申請という大きな節目に近づいています。そして今、私自身がサンディエゴに移り住み、最前線で米国市場に挑んでいます。

そして、私たちが築いているのは、がん検査にとどまりません。全身のさまざまな疾患の最も初期のシグナルは、尿に集まります。その尿を解析する「尿データプラットフォーム」こそが Craif の本質であり、がんは最初の一步です。

私たちはこの挑戦を、世界で最も競争の激しい米国市場で成し遂げようとしています。日本のスタートアップが米国のヘルスケア市場で大きな成功を収めた例は、まだありません。だからこそ挑む価値がある。人材も資金も群雄割拠する米国で勝ち抜くには、現地の強固なチームと、戦い抜くための資本が不可欠です。今回のグローバルラウンドは、その「弾」を世界中の投資家から託していただいたものだと思っています。

遠回りに見えた歩みのすべてが、今の私たちの強さになっています。国内事業をさらに加速させながら、世界最高峰の舞台で勝ち切る。本当の勝負はこれからです。覚悟を持って、ヘルスケアの未来を切り拓いていきます。

6. 今後の見通し

現時点で、本契約締結が当社の業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、重要な影響を与えることが判明した場合には速やかに開示します。

7. その他

本契約の詳細については、当事者間の合意により一部非開示としております。

以 上